



高速しが

平成30年
6月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

高速道路の逆走に注意!

逆走は命にかかわる危険な行為です。

逆走は自分だけでなく、交通ルールを守って走行する他人をも巻き込む危険な行為です。

インターチェンジやサービスエリア等から本線に進入するときは、路面標示(矢印)や標識を十分確認して、安全運転に心がけましょう。

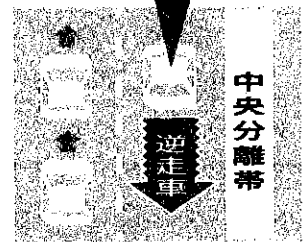


注意看板

逆走してしまったら・・・

- ① 周囲を確認したうえでハザードランプを点灯し、路肩や非常駐車帯に停止
- ② ガードレールの外側など安全な場所に避難
- ③ 速やかに110番や非常電話、道路緊急ダイヤル (#9910) で通報

逆走車は追越車線を走行してくる傾向があります



逆走による人身事故発生!!

発生日時 : 平成30年5月11日午前4時前頃
 発生場所 : 犬上郡多賀町名神高速道路下り線
 発生状況 : 軽四貨物車が本線上でUターンして逆走し、トレーラー2台と衝突し、1台が横転する交通事故を起こし、約9時間通行止めとなった。

梅雨期の運転に要注意!

雨の時の運転は…

☆ むやみに進路を変更しない

バックミラーに付いた水滴や他車の水しぶきなどで視界が悪くなり、走行車両の発見が遅れることで事故の危険性が増加します。

☆ 速度を落として車間距離に注意

雨の降り始めは特に路面が滑りやすくなります。スピードを落とし、前車との車間距離は長目にとりましょう。

☆ 急ブレーキ急ハンドルは厳禁

雨で路面が濡れているときの摩擦係数は、乾燥時の2分の1となり、非常に滑りやすい状態です。

☆ わだちの窪みに注意

道路に出来た車のわだち部分では、ハンドルを取られ易いので注意しましょう。

☆ ライトを点灯する

雨の日は薄暗くなり前方車両が見えにくくなります。ライトは早めに点灯し、自車の存在を知らせましょう



☆ハイドロブレーニング現象に注意!☆

ハイドロブレーニング現象とは、わだちなど水が溜まった場所を走行すると、タイヤと路面の間に水が入り込み、タイヤが水上を滑走するようになって、ハンドルやブレーキが利かなくなる現象です。



走行中タイヤが浮いたような感じがしたら、ハイドロブレーニング現象が発生したと判断し、ハンドルをしっかり持ちアクセルを少しずつ戻してスピードを緩めタイヤのグリップの回復を待ちましょう。

慌てて急ハンドルを切ったり、急ブレーキを踏むと車がスピンして事故の原因となりますから、絶対にやめてください。